

ビジネスバースン

社会人のための特別講座“知の最前線”

【採録】全5回

一流教授によるリレー講座 第四回『アイ・カレッジ』開講

10/27^(木)
開講

テンプル大学ジャパンキャンパス MBAプログラム 新時代のリーダーシップ ——アジア進出企業で今求められるマネジャーとは

激動のアジアに対応できる
組織、リーダーとは？

21世紀は「アジアの世紀」とも言われています。アジアの経済には大きな変化が起きており、そこでビジネスを展

開することは危険性もともないますが、むしろ大きなチャンスが広がっているといえます。

今、西洋の経済は停滞しています。高齢化が進み、個人や公的な負債がとてつもないレベル

まで膨らんでいるからです。一方で、アジア地域には商品やサービスへの巨大な潜在需要があります。アジアの人々は裕福になってきており、識別眼をもった消費行動がみられるようになってきています。つまり、従来のように西洋の人々に合わせた製品を押しつけられるのではなく、自分たちに本当に合った製品を選ぶようになってきているということです。また、他の地域との取り引きよりも、アジアの中での取り引きが盛んになってきています。

アジアのこうした変化に対応するために、そこに展開する企業は、どのようなビジネスモデルに変えていけばいいのでしょうか？ まず、もはや単なる生産拠点としてではなく、もっと多くの機能を備えた事業体として臨む必要があります。すなわち、研究開発、マーケティング、顧客サービス、そして戦略的な人材マネジメントなども、現地でやるべきだということです。それに伴い、新しいタイプの人材を探し、雇用しなければなりません。そして、従来よりも直接的に、エンド・ユーザーを取り込むようなビジネス展開が望まれます。

こうした新しい組織に対応して、新たな企業カルチャーを築き、幹部組織を再編成する必要も出てきます。重要なのは、変化に対応してより複雑化した組

織を引っ張っていくことのできる「エンタプライズ」レベルのリーダーを発掘し、育てる努力をしていくことです。

マニフアクチャ型 vs エンタプライズ型

エンタプライズレベルのリーダーとは、どんなリーダーなのでしょう。従来型のリーダーを「マニフアクチャ型」、変化の時代に対応できる新しいタイプのリーダーを「エンタプライズ型」として、さまざまな角度から比較してみましょう。

まず、経営幹部がどこに焦点をしばって考えるか。マニフアクチャ型の場合は、製品をどのように効率的に作るか、など、「内部」のみに目を向けがちです。それに対してエンタプライズ型は、常に「外」を見ます。顧客や市場、競合他社の動向などに目を光らせます。

次にビジネスの方法ですが、マニフアクチャ型は「最適化」の方向で物事を考えます。とくに日本企業に顕著なのですが、製品の生産方式やクオリティなどに関して、こうあるべき、という理想をつくり、それに近づける努力をします。その理想に合っているか、合っていないか、Yes or No、白か黒か、というように判断してい

く傾向があります。

一方エンタプライズ型では、二律背反のような複雑な状況をマネージしていきます。例えば生産部門と開発部門の言い分が異なる場合に、さまざまな要素を考慮し話し合いをし、解決を図っていきます。決まった答えはなく、さまざまな要素を組み合わせて判断します。

マニフアクチャ型が「効率性」を重視するのに対し、エンタプライズ型は「効果」を重んじます。マニフアクチャ型が成功のための要因としてとらえるのは「生産性」ですが、エンタプライズ型では「イノベーション」です。そして、重視する関係についてですが、マニフアクチャ型は、一つか二つ、三つ程度のビジネス・パートナー。エンタプライズ型では、もっと複雑な多数のステークホルダー（利害関係者）の間の調整を重要視します。

こうした特徴を持つエンタプライズ型の組織とそれを引っ張るリーダーこそが、激動するアジア市場における勝者となっていくに違いありません。



ジェームズ・ポートウッド氏

テンプル大学
フォックス経営大学院 教授

専門分野は国際人材マネジメント。1990年よりアダペストの中央ヨーロッパ大学大学院助教授を務めている。現在はテンプル大学のヨーロッパ研究センターのディレクターを兼任。アジアなどの多くの企業でコンサルタントの実績もある。



文部科学省指定 外国大学日本校

テンプル大学 ジャパンキャンパス



www.tuj.ac.jp/mba

Expand your horizons at Temple ——日本にいながらアメリカのMBAを取得

米国ペンシルベニア州立テンプル大学フォックス経営大学院による、さらなるキャリアアップを目指す方のためのエグゼクティブ向けMBAプログラムです。(授業は英語で実施)

✧ 約2/3が10カ国以上からの外国人学生

✧ 実践しながらのグローバルな経験が可能

✧ 国際経験豊かな教授陣が指導

✧ AACSB*認証 *大学・大学院の経営学プログラム認証団体

説明会 (言語:英語)

11月19日(土)正午～14:00
会場: TUJ 三田校舎

■資料請求・個別相談・お問い合わせなど(随時、日本語でも受け付けています)

〈テンプル大学ジャパンキャンパス MBAプログラム〉

〒108-0073 東京都港区三田4-1-27 Tel: 0120-86-1026(携帯可) E-mail: tujinfo@tuj.ac.jp

プログラムについて

〔入学時期〕
5月と9月の年2回

〔週末開講〕
働きながら米国MBAを2年で取得

〔単科生制度〕

最大3科目まで受講可能で

開始時期は年6回

各種奨学金有り

受講科目

必修16科目

— 基礎コース(3科目)

— 経営戦略形成コース(13科目)

※1科目5週間で修了